

1 施設概要

施設名	高知よさこい情報交流館	施設所管課	観光企画課
指定管理者名	公益社団法人 高知市観光協会		
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日	公募・指名の別	公募
設置目的	全国に広がるよさこい祭りの発祥の地である本市において、市民、観光客等へ本家のよさこい祭りを広く紹介し、その情報の提供及び発信をすることで、よさこい祭りを通じた人々の交流の場を提供することにより、よさこい祭りの更なる発展を図り、もって本市の観光の振興に資するため。		
業務内容	1 施設の維持管理に関する業務 2 よさこい祭りについての道具、写真、書籍等の資料の収集、保管及び展示に関する業務 3 よさこい祭りについての情報の発信に関する業務 4 よさこい祭りを通じた人々の交流の促進に関する業務		
施設内容	施設面積:NTT西日本高知東ビルの1階の一部(423.84㎡) ※平成27年7月30日～拡張(524.26㎡) よさこいサークル(展示)・よさこいスクエア(展示・シアター・体感コーナー) 受付・コンシェルジュカウンター・事務室		
職員体制	常勤職員 4人 パート職員 2人	非常勤職員 0人 アルバイト 0人	契約社員 0人 その他 0人
	合計		6人

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	令和 6 年度 (1 年目)		令和 7 年度 (2 年目)		令和 8 年度 (3 年目)		令和 9 年度 (4 年目)		令和 10 年度 (5 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
利用者数(人)	50,000	47,679								
事業開催数(回)	3	7								
目標値に対する達成状況について	令和6年度利用者数は47,679人と、目標の50,000人には届かなかったが、前年度より5,467人増加し、前年度実績を大きく上回ることができた。特に、大型客船寄港時の臨時開館や開館延長に努めるなど、インバウンド観光客の受入施策を実施したことによって、利用者の増加につながったと考えている。									

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	令和 6 年度 (1 年目)	令和 7 年度 (2 年目)	令和 8 年度 (3 年目)	令和 9 年度 (4 年目)	令和 10 年度 (5 年目)
利用者数	47,679 人	人	人	人	人
利用者数:対前年度比	129.5 %	%	%	%	%
開館日数	315 日	日	日	日	日
利用状況についての評価	令和6年度「よさこい祭り」や「花火大会」等の催事が行われ、年間を通じて、定期チャーター便の就航、クルーズ客船の寄港など、入館者の増加につながる要因があった。また、コンシェルジュによる積極的な声かけを行うなどしたこと、前年度より利用者数が増加した。				

※R5年度実績 利用者数:42,212人

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

	令和 6 年度 (1 年目)				令和 7 年度 (2 年目)			
	計画		実績		計画		実績	
	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)
収入	指定管理料	23,965	0	23,965		26,417		
	利用料金収入							
	自主事業収入		1,987		2,610		2,095	
	その他収入				12		277	
	収入計	23,965	1,987	23,965	2,622	26,417	2,372	0
支出	人件費	17,043		18,171		19,614		
	光熱水費	0	0	0	0			
	保険料	5		5		5		
	委託料	749		756		275		
	賃借料	474		352		386	35	
	修繕費	500		469		765		
	事業費	3,630	1,987	2,113	2,609	3,928	1,810	
	消費税及び地方消費税	1,561		1,773		1,964		
	その他の公課費	3		3			7	
	事業所税	0		0				
	その他							
支出計	23,965	1,987	23,642	2,609	26,937	1,852	0	
差引収支 (収入計-支出計)	0	0	323	13	▲ 520	520	0	

	令和 8 年度 (3 年目)				令和 9 年度 (4 年目)			
	計画		実績		計画		実績	
	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)
収入	指定管理料							
	利用料金収入							
	自主事業収入							
	その他収入							
	収入計	0	0	0	0	0	0	0
支出	人件費							
	光熱水費							
	保険料							
	委託料							
	賃借料							
	修繕費							
	事業費							
	消費税及び地方消費税							
	その他の公課費							
	事業所税							
	その他							
支出計	0	0	0	0	0	0	0	
差引収支 (収入計-支出計)	0	0	0	0	0	0	0	

	令和 10 年度 (5 年目)			
	計画		実績	
	(指定管理業務)	(自主事業)	(指定管理業務)	(自主事業)
収入	指定管理料			
	利用料金収入			
	自主事業収入			
	その他収入			
	収入計	0	0	0
支出	人件費			
	光熱水費			
	保険料			
	委託料			
	賃借料			
	修繕費			
	事業費			
	消費税及び地方消費税			
	その他の公課費			
	事業所税			
	その他			
支出計	0	0	0	
差引収支 (収入計-支出計)	0	0	0	

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	令和 6 年度 (1 年目)	令和 7 年度 (2 年目)	令和 8 年度 (3 年目)	令和 9 年度 (4 年目)	令和 10 年度 (5 年目)
① 利用料金比率	0.0 %	- %	- %	- %	- %
② 指定管理料比率	100.0 %	- %	- %	- %	- %
③ 人件費比率	76.9 %	- %	- %	- %	- %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	496 円	- 円	- 円	- 円	- 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	503 円	- 円	- 円	- 円	- 円
⑥ 外部委託費比率	3.2 %	%	%	%	%

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

	令和 6 年度 (1 年目)	令和 7 年度 (2 年目)	令和 8 年度 (3 年目)	令和 9 年度 (4 年目)	令和 10 年度 (5 年目)	
調査の実施内容	① 調査方法	館内にアンケート用紙を設置。来館者に協力を依頼し、記入いただいたものを回収箱に投函する。アンケート用紙の言語は、日本語・英語				
	② 調査期間	令和6年4月～令和7年3月				
	③ 配布数	292				
	④ 回収数	292				
	⑤ 回収率	100.0 %				
調査結果	<p>団体利用137件、個人155件に対しアンケートを実施。団体回答者は、国内50%、国外50%、個人回答者は市内14%、市外79%、海外6%、未回答1%であった。興味を持った展示内容は、よさこいスクエアが最も多く、よさこいタイムトンネルが最も低かった。団体の来館理由としては、ツアーコースが最も多く、ロコミ、紹介が最も低かった。</p>					

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
特になし		

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務(保安、鍵の管理)は適切に行われたか	3	3	3.0
8 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
12 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
13 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
14 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
15 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
16 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
18 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
19 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点57点(19項目×3点)		小計	57	57.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	3	3	3.0
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	3	3	3.0
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	4	3.7
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	3	3.0
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	3	3.0
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	4	2	2.0
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	3	3.0
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	3	3	3.0
配点45点(9項目×5点)		小計	33	26.7

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0	
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0	
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0	
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0	
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0	
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15	15.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	おおむね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	57 点	57 点	100 %	57 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	33 点	73 %	27 点	60 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	117 点	105 点	90 %	99 点	85 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
6	令和6年度の入館者数は47,679人と、目標の50,000人には届かなかったものの、前年度より5,467人増加し、前年度実績42,212人を大きく上回る事ができた。特に、大型客船寄港時の臨時開館や開館延長に努めるなど、インバウンド観光客の受入施策を実施したことによって、利用者の増加につながったと考えている。 また、よさこい踊り体験者数は11,480人と前年度の6,158人を大幅に増加し、インバウンド観光客の受入に取り組んだことや、コンシェルジュによる積極的な声掛け、またよさこい祭りの期間中はインターン生の受入をし、観光客の誘導を積極的に行ったことが増加の要因として考えられる。 一方で鳴子づり体験者数は1,113人(前年度1,217人)となり、体験者数がやや減少する結果となった。キャッシュレス決済への対応が求められたり、また急いでいることから完成品を購入したいといった要望があったりと、インバウンド観光客特有のニーズに対し、提供サービスが上手くマッチしていなかったことが、減少の要因として考えられるが、積極的な声かけにより、しゃもじカラーを選択できるオプションについては、増加することができた。
7	
8	
9	
10	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
6	<p>事業計画・仕様書に沿っておおむね適正に管理・運営がなされている。</p> <p>入館者数47,679人について、目標値(50,000人)はわずかに達成できなかったものの、前年度と比較して増加する(前年度比113.0%)結果となった。</p> <p>令和6年度は市職員、観光協会職員、スタッフで高知よさこい情報交流館魅力向上プロジェクトチームを立ち上げ、提案された施策の中からR7年度に先駆けて、団体客向けにアクセス方法・モデルルートの案内掲載やX、インスタグラムの開設等、情報発信に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、来館者へのスタッフによる声掛け等の結果により、アンケートの回収率や踊り体験数を増加させることができた。一方で鳴子づくり体験者数は1,113人(前年度1,217人)となり、体験者数がやや減少する結果となったが、しゃもじカラーを選択できるオプション(+500円)については606人(前年度531人)となり、体験者は増加する結果となっている。また、出張鳴子づくり体験の実施等により、自主事業収入については、2,611千円(前年度比170.5%)と大幅に増加している点は評価できる。より一層の体験者数増に向けて、今後、さらに増加が期待されるインバウンド観光客等から求められるキャッシュレス決済導入の検討や新たなオプション機能の追加等、引き続き利用者サービスの向上に努めていただきたい。</p>
7	
8	
9	
10	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	57 点	57.0 点	100 %	A
(2) サービスの質の確認	45 点	26.7 点	59 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	117 点	98.7 点	84 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、又はそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	おおむね事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

<p>おおむね事業計画書・仕様書に沿った管理運営がなされています。 スタッフの声掛けにより、アンケートの回収率や踊り体験数が増加できたことは評価できます。 利用者数の目標は未達となっていますので、積極的な情報発信など、利用者数の増加に向けた取組の実施に努めてください。</p>
--

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
6	A	98.7 点	おおむね事業計画書・仕様書に沿った管理運営がなされています。 スタッフの声掛けにより、アンケートの回収率や踊り体験数が増加できたことは評価できます。 利用者数の目標は未達となっていますので、積極的な情報発信など、利用者数の増加に向けた取組の実施に努めてください。
7		点	
8		点	
9		点	
10		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応